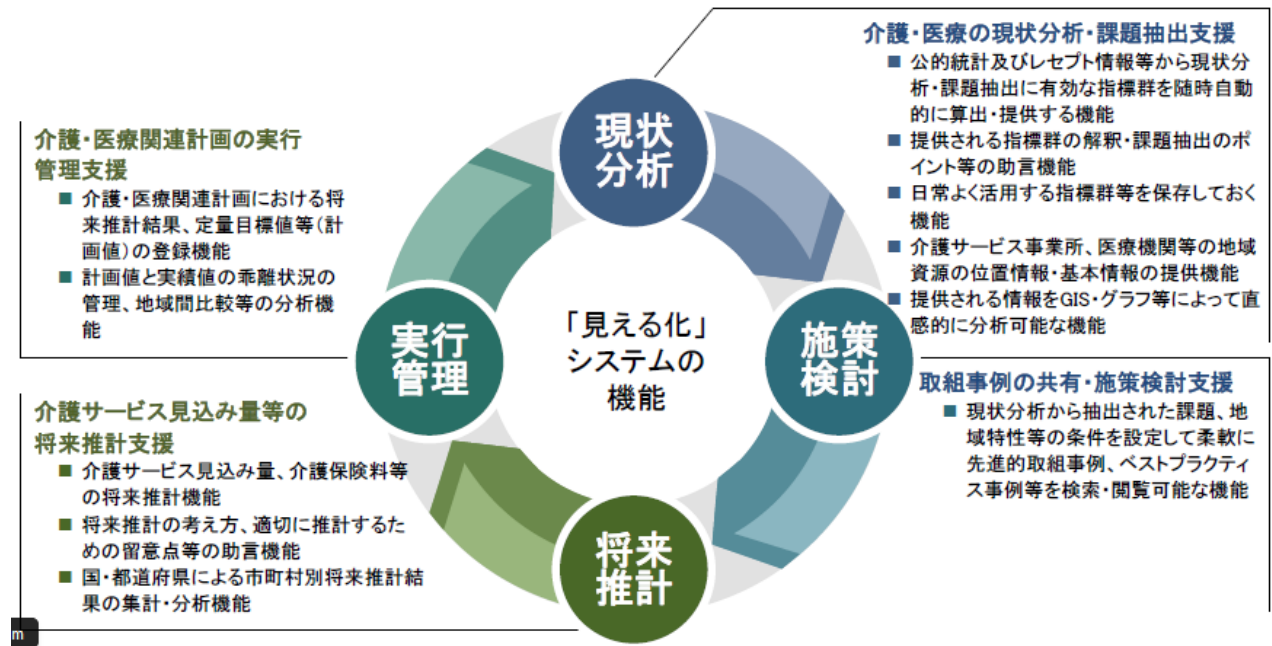


～令和5年度～

「見える化システム」から見る 出水市の介護保険

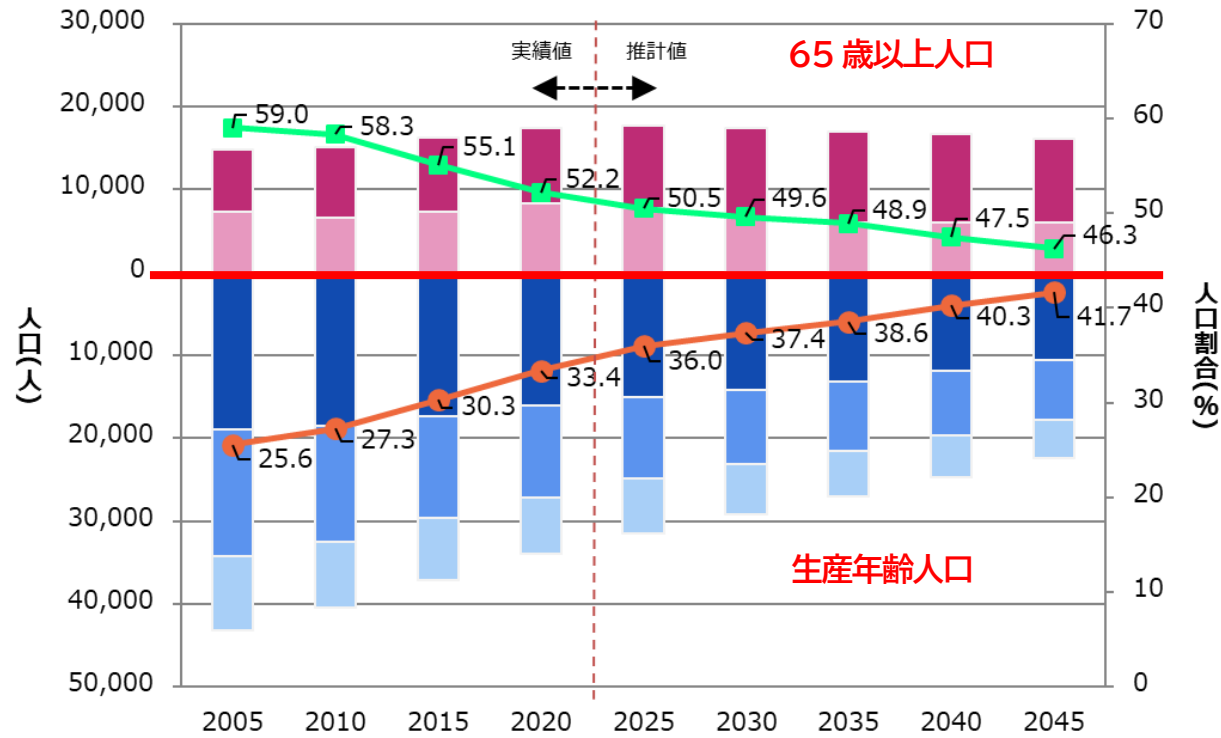
※「見える化システム」とは …

県や市町村における介護保険計画の策定・実行を支えるため「介護・医療の現状分析、課題抽出支援」、「課題解決のための取組事例の共有・施策検討支援」、「介護サービス見込み量等の将来推計支援」、「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供するものです。



出水市 いきいき長寿課

出水市の人口の推移



高齢化率は増加し、生産年齢人口は大きく減少するとともに割合も減少する。

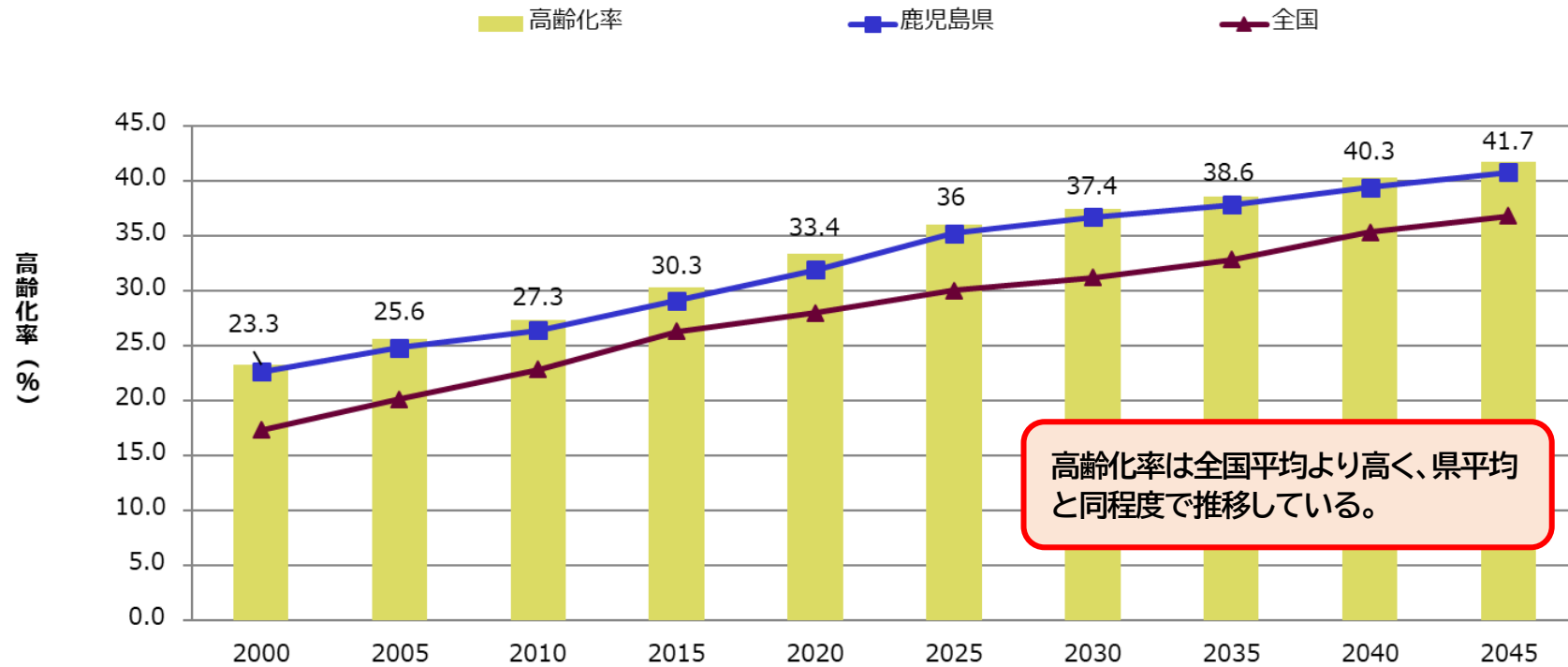
出水市の高齢化率の降順		
(2015年10月時点)		
鹿児島県内	33番目	43保険者
全国	856番目	1,570保険者
(2025年の推計値)		
鹿児島県内	35番目	43保険者
全国	811番目	1,512保険者
(2040年の推計値)		
鹿児島県内	34番目	43保険者
全国	884番目	1,512保険者

- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 15歳未満
- 15歳～40歳未満
- 40歳～65歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

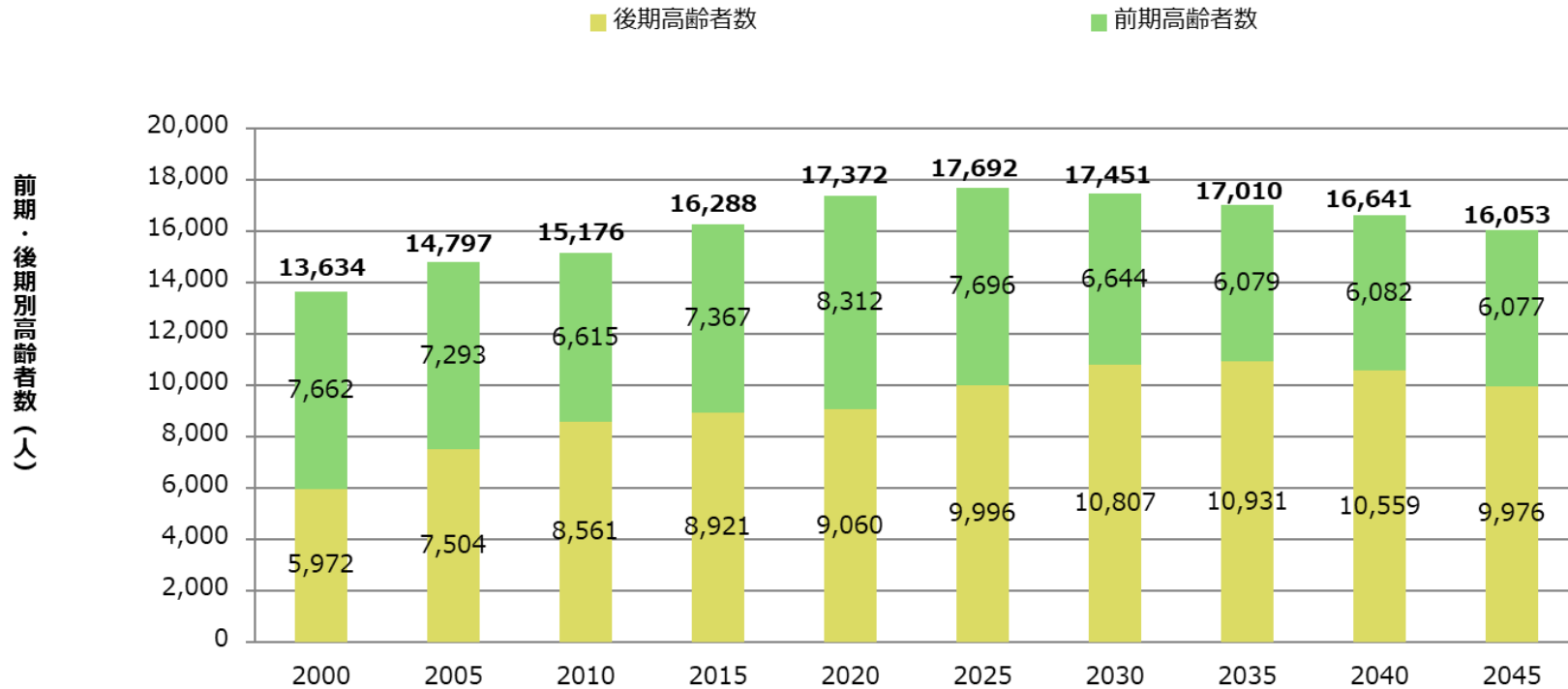
高齢化率（出水市）



(注目する地域) 出水市

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

前期・後期別高齢者数（出水市）

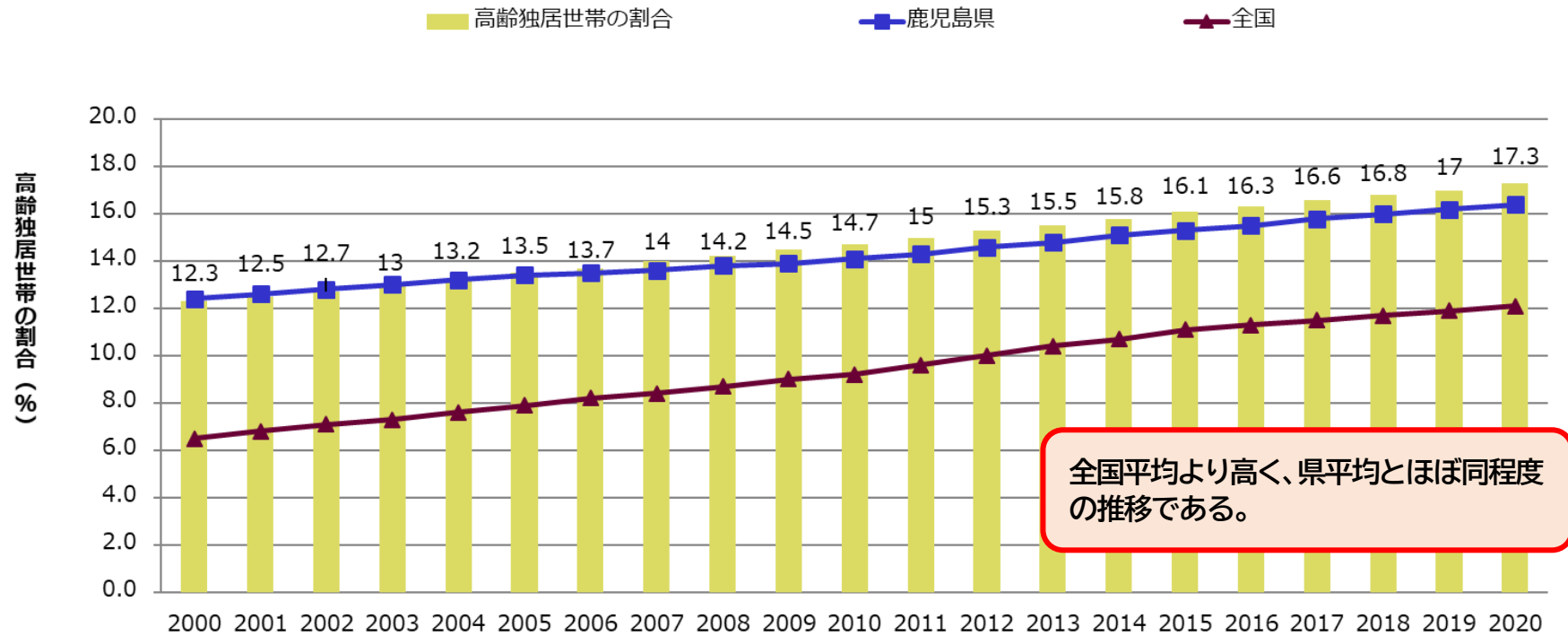


（注目する地域）出水市

（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

前期、後期高齢者とも同じような推移で減少する。

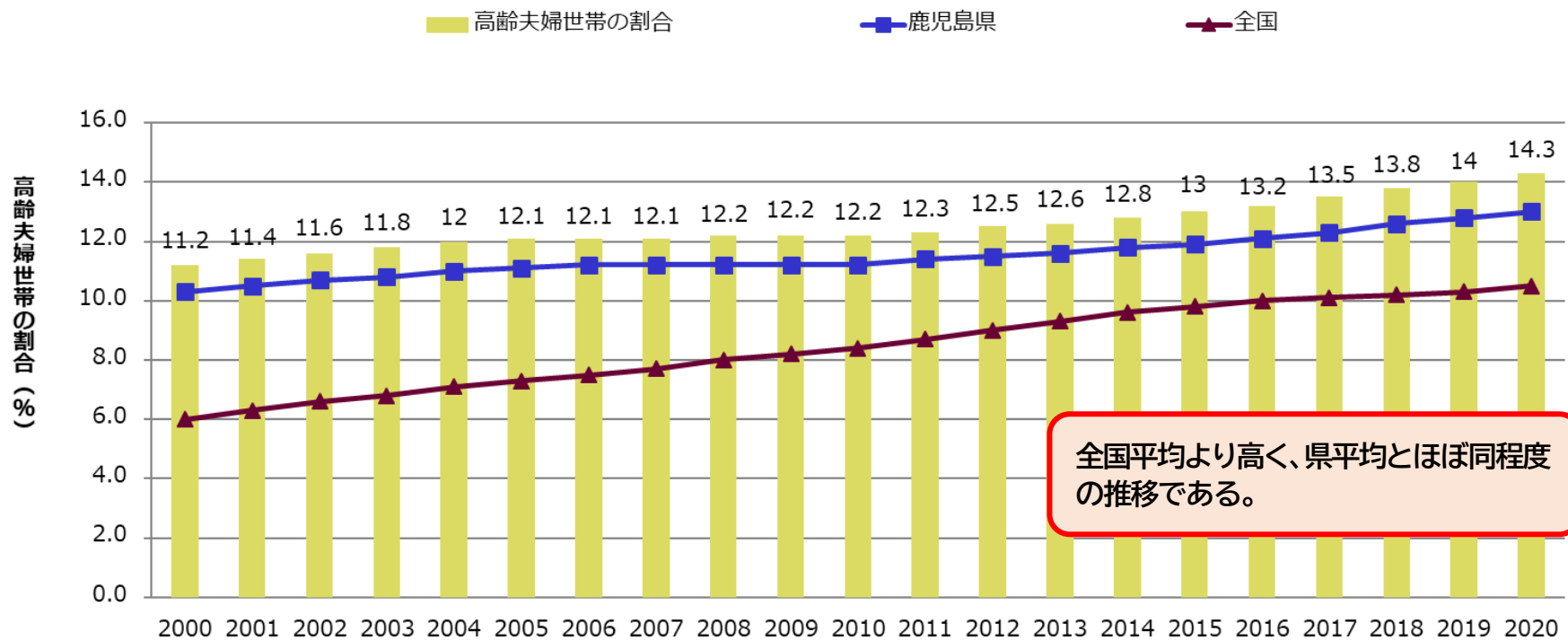
高齢独居世帯の割合（出水市）



全国平均より高く、県平均とほぼ同程度の推移である。

(注目する地域) 出水市
(出典) 総務省「国勢調査」

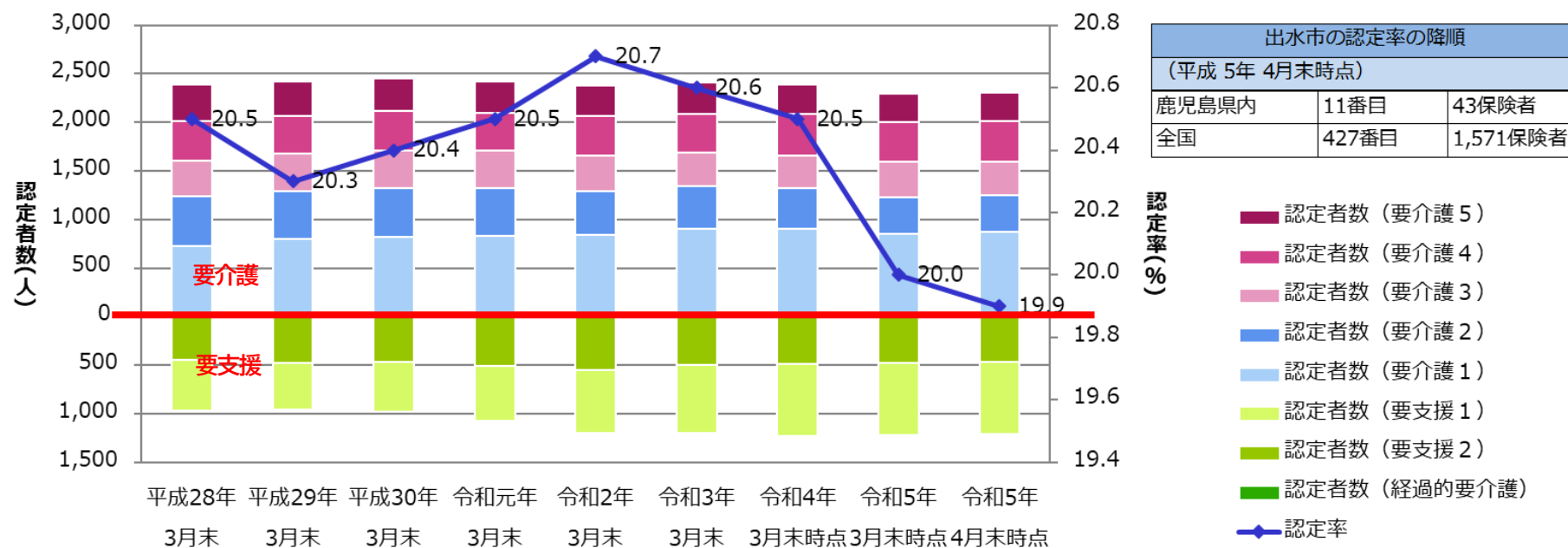
高齢夫婦世帯の割合（出水市）



全国平均より高く、県平均とほぼ同程度の推移である。

(注目する地域) 出水市
(出典) 総務省「国勢調査」

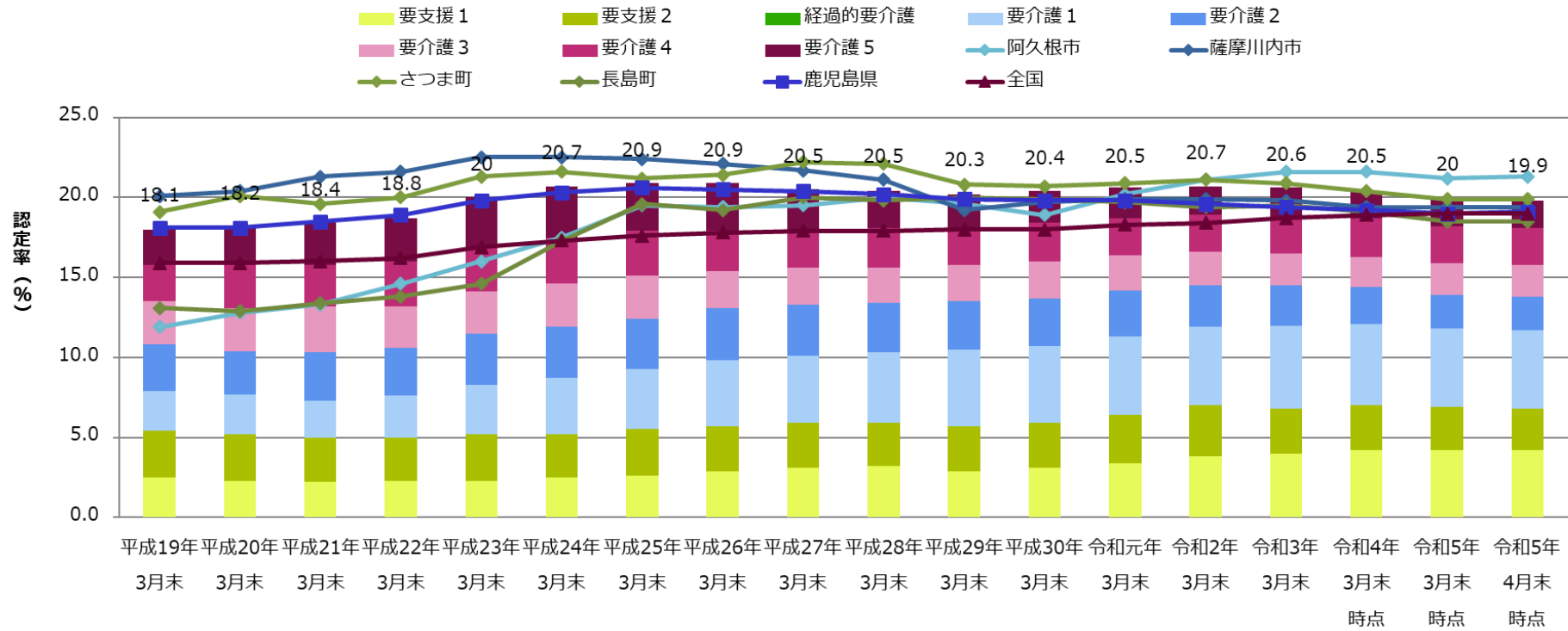
出水市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



(出典) 平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和5年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

認定者数は、要介護者についてはほぼ横ばい、要支援者については平成 29 年度の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い増加している。認定率は、平成 28 年度以降増加傾向にあったが、令和2年度以降減少傾向にある。

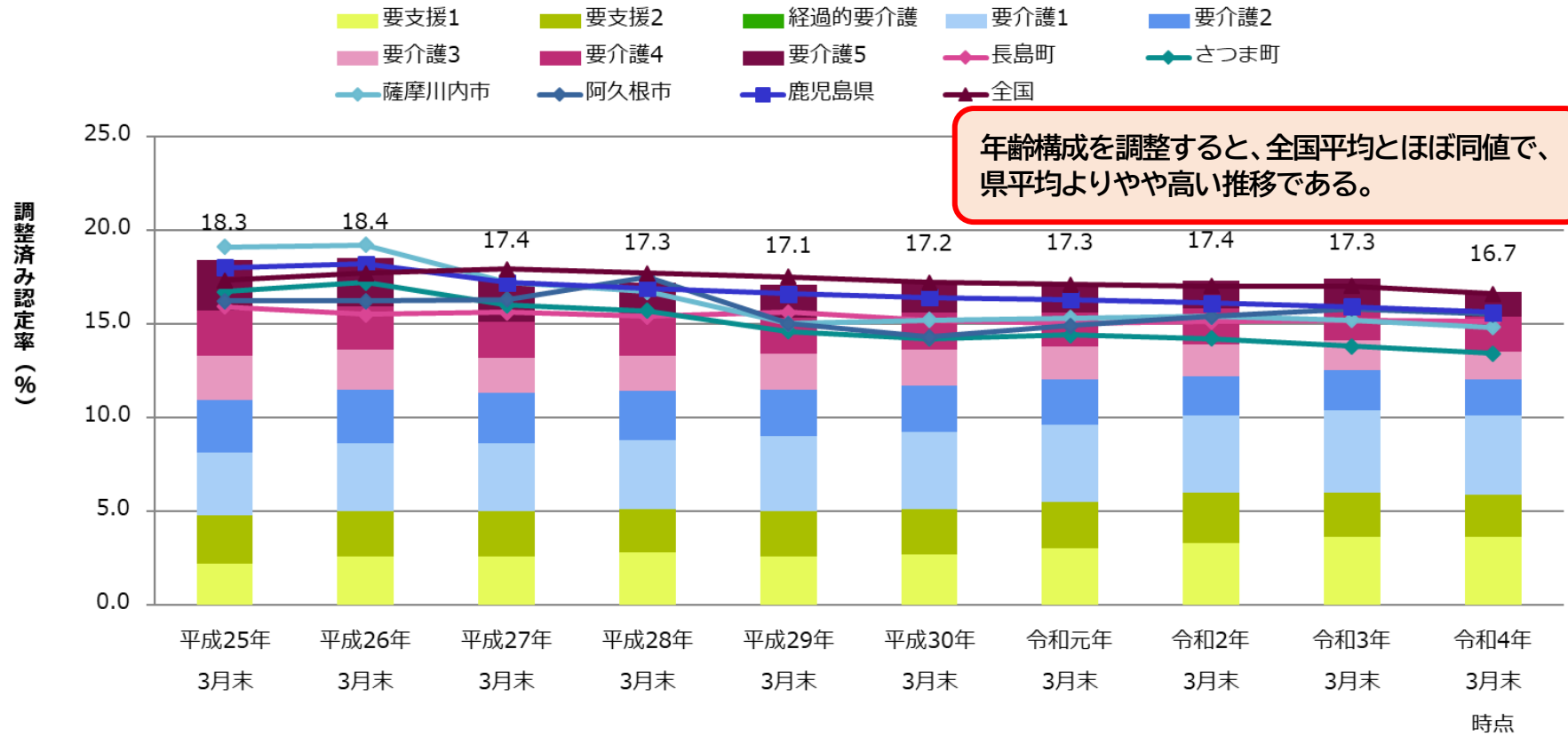
認定率（要介護度別）（出水市）



(注目する地域) 出水市
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

認定率は、全国平均より高く、県平均と同様の割合で推移している。

調整済み認定率（要介護度別）（出水市）



年齢構成を調整すると、全国平均とほぼ同値で、県平均よりやや高い推移である。

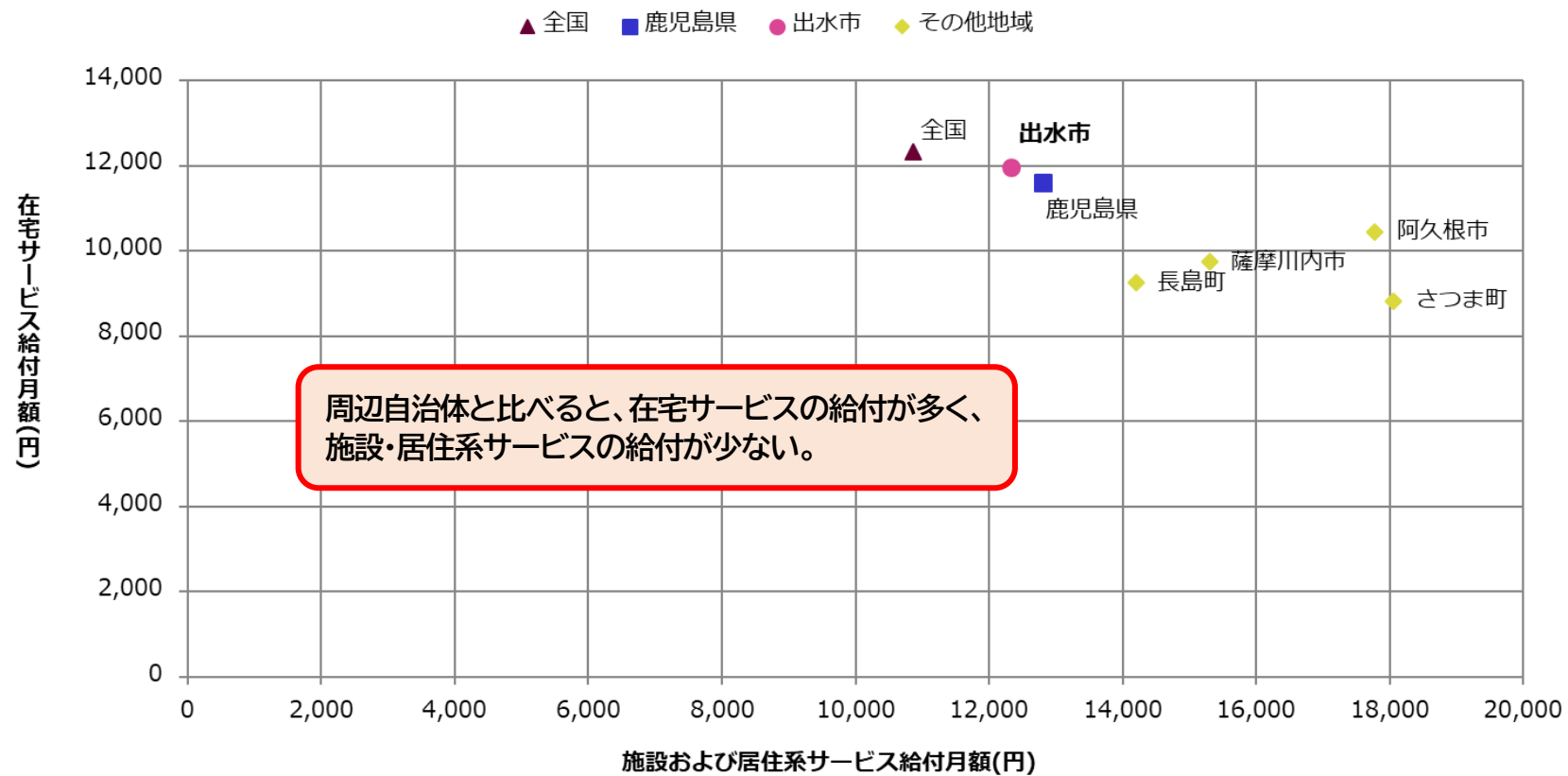
（注目する地域）出水市

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※調整済み認定率とは・・・

認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率のこと。どの地域も全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、地域間・時系列で比較がしやすくなります。

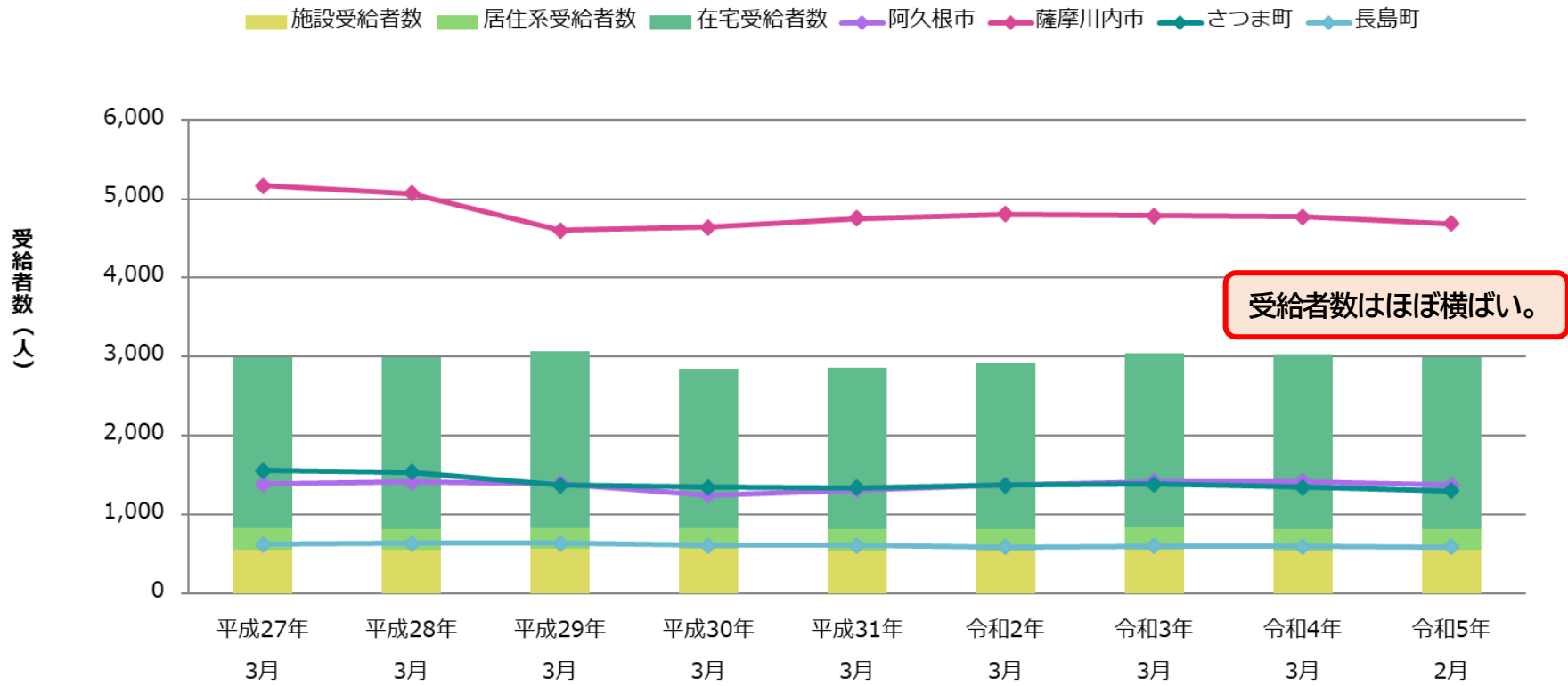
第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス） （令和4年(2022年)）



（時点）令和4年(2022年)

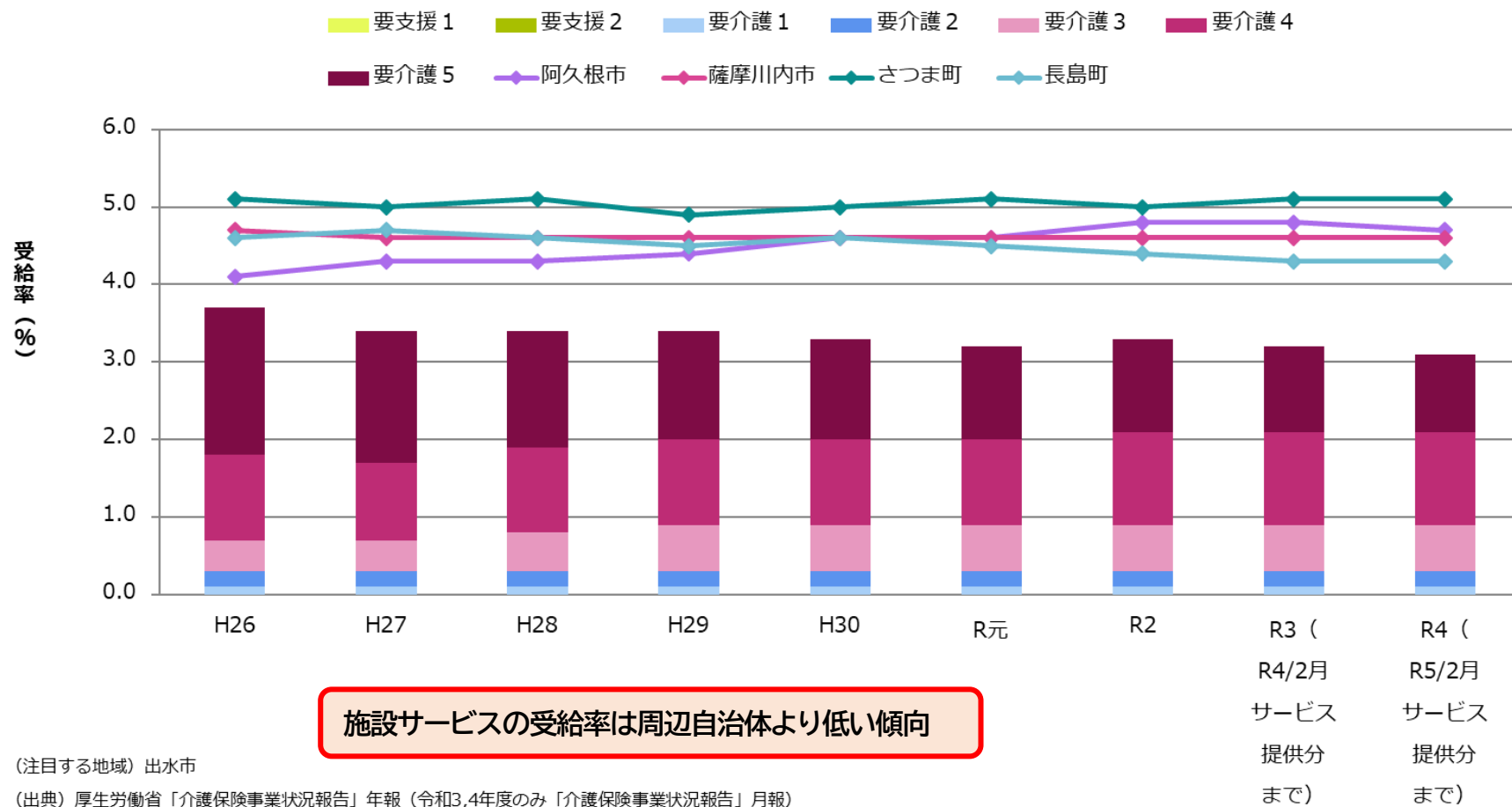
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

施設・居住系・在宅受給者数（出水市）

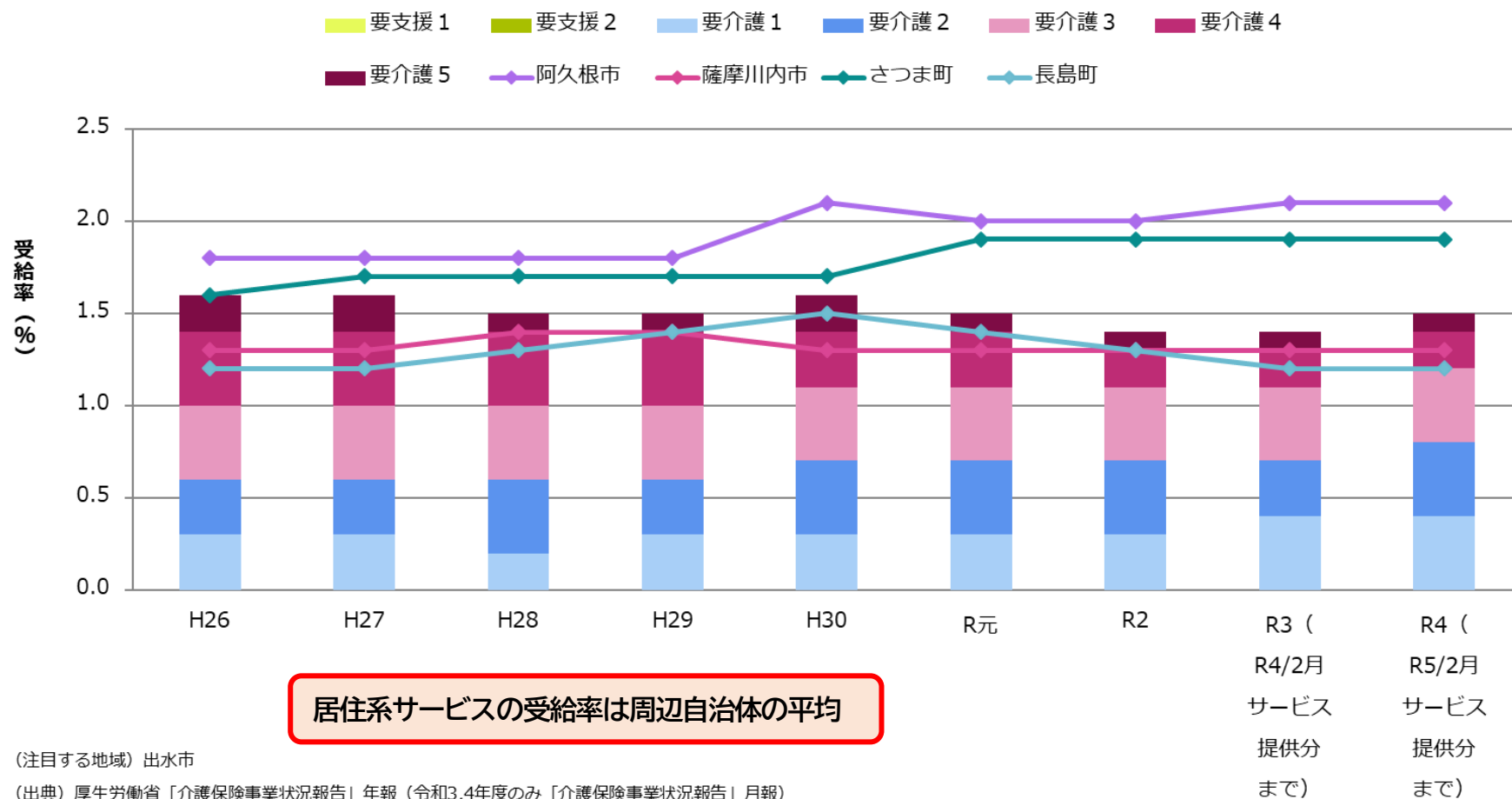


(注目する地域) 出水市
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

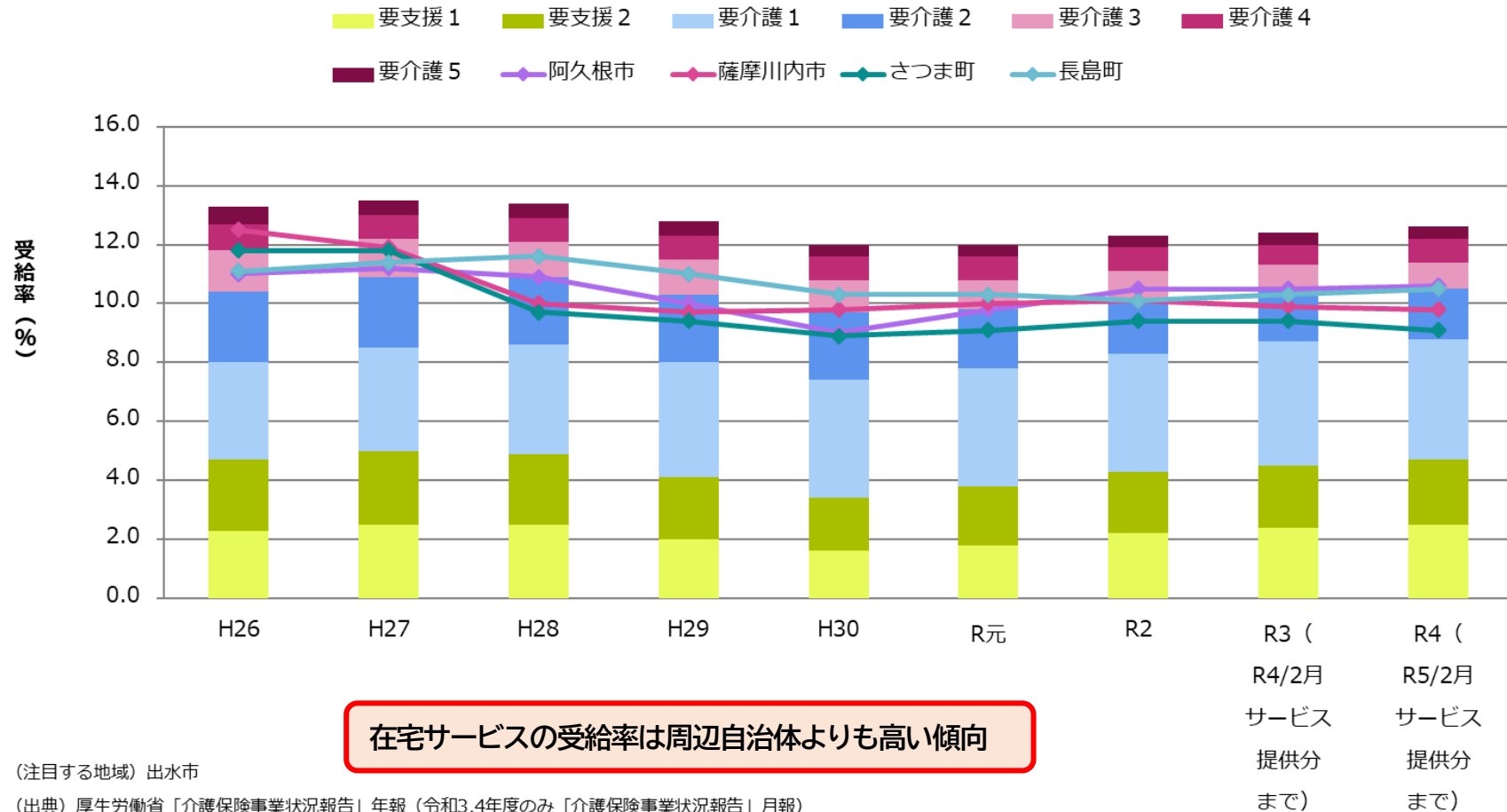
受給率（施設サービス）（要介護度別）（出水市）



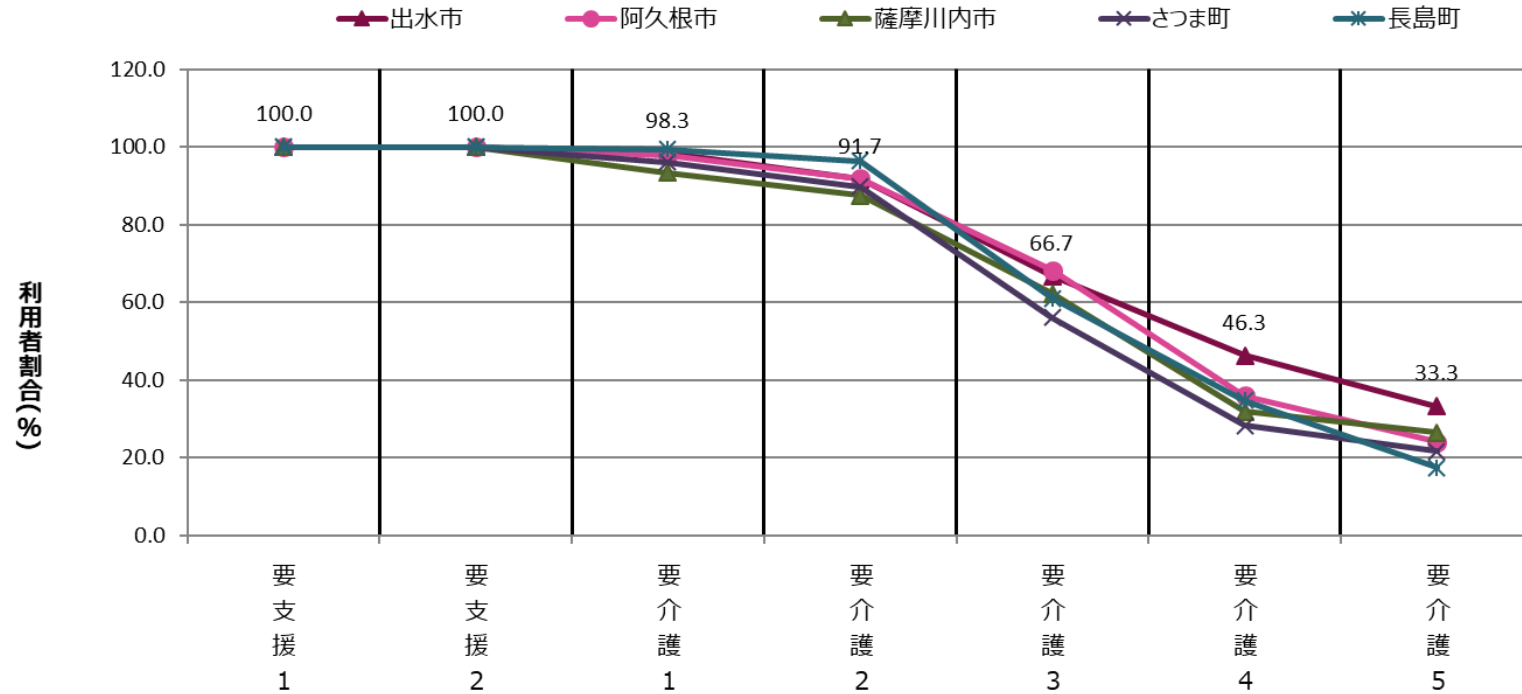
受給率（居住系サービス）（要介護度別）（出水市）



受給率（在宅サービス）（要介護度別）（出水市）



在宅・居住系サービス利用者割合（令和4年(2022年)）

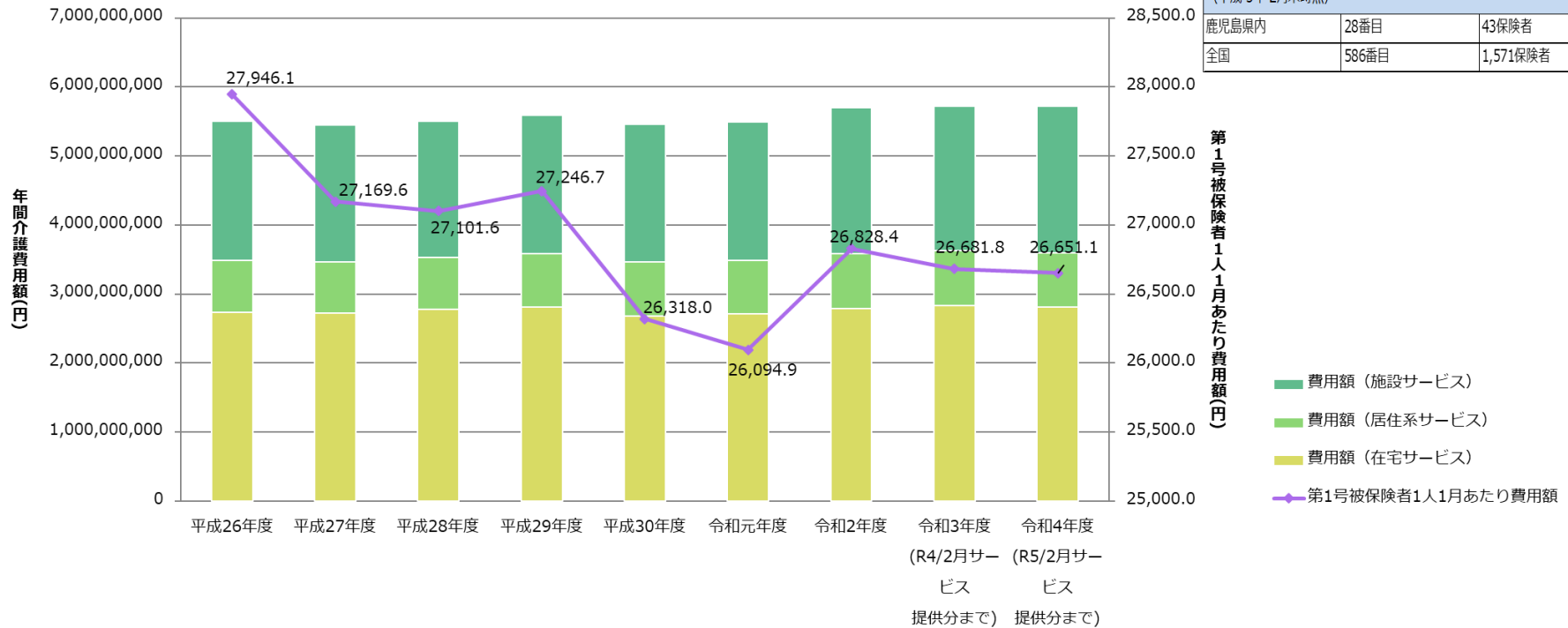


要介護度が高くなれば在宅・居住系サービスの利用が少なくなる(施設サービスの割合が多くなる)傾向があるが、他市町と比較して減少の度合いは緩やか

(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

出水市の介護費用額の推移



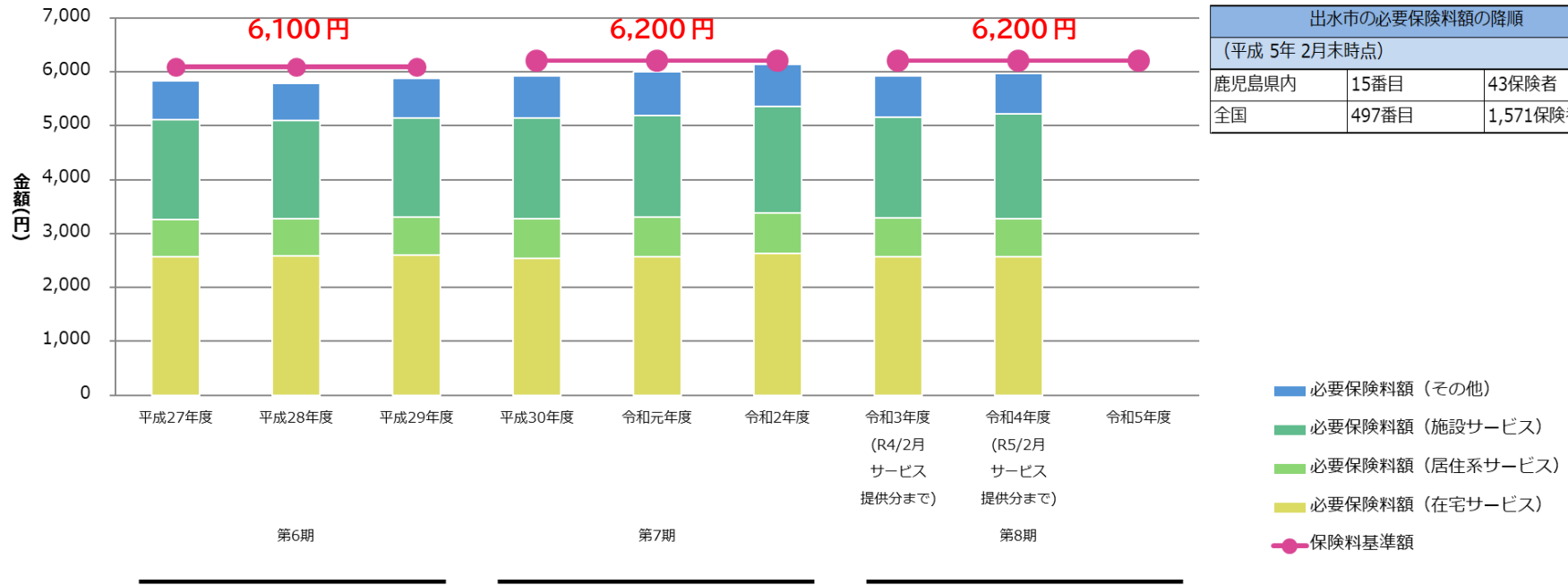
鹿児島県内	28番目	43保険者
全国	586番目	1,571保険者

(出典) 【費用額】平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

介護費用額は、令和2年度以降は横ばいで推移
1人あたりの費用額は、令和元年度までは減少傾向で令和2年度に一旦上昇したが、それ以降はほぼ横ばいで推移している。

出水市の保険料額の推移



(出典) 【必要保険料額】平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

保険料基準額は、第7期から引き続き第8期も6,200円

まとめ

- ① 高齢者人口は2025年以降緩やかに減少を始め、高齢化率は県の平均とほぼ同値で推移する。生産年齢人口の減少は大きく、両者の割合の差は縮まっていく。また、高齢独居世帯、高齢夫婦世帯は増加傾向にある。
- ② 認定者数は、要介護者はほぼ横ばい、要支援者は平成30年度から令和元年度にかけて増加した。認定率は県平均と同程度。年齢構成を調整した認定率は全国平均とほぼ同値で、県平均よりはやや高い。
- ③ 周辺自治体と比べ在宅サービスの受給率が高く、施設系サービスの受給率が低い。年間介護費用額及び1人1月あたりの費用額は、ここ3年間は安定して推移している。